

令和元年度 学校評価報告書（目標設定）

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		
			具体的な方策	評価の観点	
1	教育課程学習指導	<p>①工業教育の特色を活かし、社会で必要とされる専門性の向上を図る教育課程を提供する。</p> <p>②自ら課題を発見し解決する力の育成と主体的に学ぶ意欲の向上を図る。</p> <p>③学校行事や生徒会活動を通じ、自他の多様性を尊重させ、生徒の主体的な活動の促進を図る。</p>	<p>①新学習指導要領を踏まえ、かつ、生徒の実情にあった教育課程について、評価及び検討を行う。</p> <p>①工業に必要な資格取得の合格率をさらに向上させる。</p> <p>②生徒主体の参加型授業を定着させ、生徒の意欲向上につなげる。</p> <p>②企業研究・課題研究・実習などで、主体的に学ぶ意欲の向上をめざす。</p> <p>③生徒会行事の運営を通して、生徒の自立心を育成させる。</p>	<p>①教育課程の工業科目における専門性の向上と、共通科目の充実を図る。</p> <p>①向エジュニアマイスター制度のさらなる浸透を図るとともに、資格取得に向けて一層の指導を行う。</p> <p>②引き続き、計画的な授業改善に取り組み、教科を超えた研究授業・協議を通して、全教科で参加型授業の実施・展開・発展をめざす。</p> <p>②出前授業などを積極的に実施し、外部講師等の有効活用を図る。</p> <p>③学校行事等において、企画・準備段階から生徒が取り組むように導く。</p>	<p>①教育課程の評価及び検討ができたか。</p> <p>①資格取得合格者が昨年度より増加したか。また、ジュニアマイスター申請者が増加したか。</p> <p>②生徒による授業評価の学習努力、意欲的な取組において、85%の生徒が「あてはまる」と回答できたか。</p> <p>②出前授業後のアンケートにおいて、85%の生徒が「参考になった」と回答できたか。</p> <p>③学校行事等において、生徒が自主的に活動できたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①自己の成長を意識させ、社会人としての基礎力を身につけさせる。</p> <p>②部活動を通じて、責任感、協調性、自主性の涵養を図る。</p>	<p>①生徒個々に応じた生徒指導・支援を専門職員（SC、SSW）や外部機関等と連携しながら進める。</p> <p>①いじめ等の問題行動の未然防止を図る。</p> <p>②部活動を通して、生徒の自立心や行動力を育成させ、生徒が主体的に、責任感を持って実行できる力を養う。</p>	<p>①生徒の情報を全職員で共有するとともに、きめ細かな対応を図る。</p> <p>①教育相談体制を充実させ、SCやSSWの有効活用を図る。</p> <p>①問題行動の未然防止として、定期的な服装、頭髮及び遅刻指導やいじめに関するアンケート、SNS上のトラブル防止策の検討等を行う。</p> <p>②部長や副部長、マネージャー等を活用し、職員が生徒に寄添い、各職員が自主的・主体的に取り組むように導く。</p>	<p>①生徒情報交換会を実施できたか。また、必要に応じてケース会議を実施できたか。</p> <p>①SCやSSWの来校日を周知できたか。また、SCやSSWと連携して生徒対応を行うことができたか。</p> <p>①生徒に対する指導において、定期的で組織的な取組ができたか。</p> <p>①いじめに関するアンケート等を実施し、安心して学校生活を送れる環境づくりができたか。</p> <p>②生徒の自主的な取組により、各部活動の活性化が図れたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>生徒一人ひとりの進路実現に向けた進路指導の充実を図る。</p>	<p>①56期生全員の、希望に沿った進路実現を図る。</p> <p>②外部機関との連携を深め、信頼関係の強化を図るとともに、有効活用する。</p>	<p>①進路支援グループ、担任及び学年等、職員相互の連絡を密にし、随時、進路希望を把握する。</p> <p>①授業を通して、進路意識の高揚、啓発を図る。</p> <p>①授業、学年行事等で求められる資質育成のためのプログラムを実施する。</p> <p>②連絡を密に取りながら、入試説明会、出前授業、施設見学などを通して、マッチング重視の支援を行う。</p>	<p>①定期的な希望調査の他、授業等も活用して、最新の進路希望を把握する。</p> <p>①一般教養テスト、面接想定姿勢、受答え、文章構成、表現、PR等及び履歴書の指導などを実施する。</p> <p>①②生徒からの質問、進路室利用、オープンキャンパス、企業説明会への参加等、生徒からの積極的なアプローチがあったか。</p>
4	地域等との協働	<p>「地域とともに育つ向工」を実現し、「地域で活躍する向工生」を育むために、地域社会との連携による教育活動を推進する。</p>	<p>①「地域とともに育つ向工」を実現するため、本校のホームページ、説明会等を活用し、教育活動を発信する。</p> <p>②「地域で活躍する向工生」を育むために、他校種、企業との連携事業を推進する。</p>	<p>①各種イベントを活用した施設・設備の魅力や学校活動を積極的に発信し、地域への広報活動を行う。</p> <p>②生徒自らが各種イベントに参加・運営することで自ら考える力やコミュニケーション能力を育む。</p> <p>②他校種、企業との連携を通じた教育活動の推進を行う。</p>	<p>①学校での活動をホームページ等で積極的に発信することができたか。</p> <p>②各種イベント、学校活動に取り組むことで昨年度よりも自ら考える力やコミュニケーション能力を育むことができたか。</p> <p>②各種イベント、地域の活動に生徒が協力できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①校内の美化意識の向上と防災教育を推し進め、安全安心な教育環境を構築する。</p> <p>②すべての職員の資質向上を図るとともに、風通しの良い職場づくりをめざし、教職員の事故不祥事を未然に防止する。</p>	<p>①生徒が校内美化に対する意識及び安全並びに防災に対する意識を日常のあらゆる場面で持ちながら行動できるような環境づくりに取り組む。</p> <p>②職員の資質向上に向け、職員の連携及び不祥事防止に取り組む。</p>	<p>①全校運動として「整理、整頓、清潔、清掃、躰、安全」の6S運動を展開し、安全、環境教育の推進を図る。</p> <p>①全生徒全職員が防災意識を高めるよう避難訓練等の防災教育を実施する。</p> <p>②定期的に不祥事防止等の研修を行う。</p>	<p>①「整理、整頓、清潔、清掃、躰、安全」が昨年度より身に付き、実践されているか。</p> <p>①避難訓練や学校掲示板の利用等により、迅速な行動や安否確認等の連絡訓練が効果的に実施できたか。</p> <p>②全職員で不祥事ゼロを実現できたか。</p>